

## 固定液自動作製装置

### 1. 概要

固定液自動作製装置 HANABI-SPI は、培養された細胞に対する細胞収穫から染色体展開操作までの処理工程に用いられる固定液を自動的に作製するものです。複雑な固定液作製を機械的な動作によって実施するため、安定した固定液作製が可能となります。

HANABI-SPI は試薬移送機構にメンテナンスが容易なチューブポンプを 2 台搭載しています。これらのポンプはメタノール、酢酸に対する耐薬性に優れているため、安定な送液を実現します。

片側のポンプの流量をボリューム調整にて可変でき、一般的に使用されているカルノア固定液の比率(メタノール:酢酸=3:1)以外にも、様々な混合比の固定液を作製することができます。固定液用ボトルの背面には、液面検知センサが設置されており、作製している固定液が減少すると自動的に新しい固定液を作製する方式となっています。自動作製する固定液量は、タイマーによって作製時間を変更することができるため、各試薬のデッドボリューム低減にも繋がります。必要とされる固定液量を都度作製できることから、固定液の用事調製及び冷凍保存の必要がありません。



**HANABI-SPI**  
Auto Fixative Mixer  
固定液自動作製装置  
ガロンボトルタイプ

そのため、本装置は HANABI Harvester シリーズの試薬棚に設置して使用することでその効果を最大限に発揮します。

**ADSTEC**

<http://www.ads-tec.co.jp>

E-mail: [sales@ads-tec.co.jp](mailto:sales@ads-tec.co.jp)

株式会社 エーディーエステック

〒273-0025 千葉県船橋市印内町568-1-1

Tel: 047-495-9070 Fax: 047-495-8809

## 2. 仕様

主な仕様は以下の通りです。

No.	項目	仕様	備考
1	チューブポンプ1 (Pump 1)	0 - 180ml/min	調整ボリュームにて可変 (Default: 150ml/min)
2	チューブポンプ2 (Pump 2)	50ml/min	
3	試薬混合比率	P1 : P2 = 0:1 - 3.6:1	P1 = Pump 1, P2 = Pump 2 (Default: 3:1)
4	タイマー設定範囲	0 - 2.4min	最小メモリ: 0.24min
5	固定液最小作製流量	50ml/min	P1 : P2 = 0:1 設定時
6	固定液最大作製流量	230ml/min	P1 : P2 = 3.6:1 設定時
7	推奨試薬ボトル	3000ml	メタノール及び酢酸用
8	推奨固定液用ボトル	500ml	
9	動作環境	15 - 30°C, 20 - 60%RH	結露無し
10	保存環境	0 - 40°C, 0 - 95%RH	結露無し、氷結無し
11	電源容量	AC100 - 240V, 100W	50 / 60Hz
12	外形寸法	470Wx300Dx320H	
13	本体重量	6kg	試薬ボトル及び試薬重量含まず
14	安全規格	CE-marking	EN61010-1, EN61326-1
15	動作時音量	73dB	

## 3. 動作フロー図

